



株式会社 西日本ジェイエイ畜産
会社案内



お届けしています 安全・安心 美味・新鮮

私たち全農グループは、生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋になります。

私たちは安心を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。



私たちの会社は平成10年2月20日、JA全農グループの一員としてこの鳥取の地に誕生しました。

以来20年余にわたり、採卵鶏事業、養牛事業、養豚事業を三本柱として、「安全・安心・美味・新鮮」をモットーに畜産生産を担ってまいりました。

令和3年には、経営資源集中によるさらなる収益力向上を目指し、採卵鶏事業を廃止するとともに養豚事業の規模拡大を行いました。

私たちは事業を営む上で、次の三つを重視しております。

一つ目は「自然環境にやさしく」。これは家畜排せつ物を堆肥化して農耕地へ還元したり、農場排水を浄化して自然へ戻すなど、自然環境への負荷をできる限り減らす試みです。
二つ目は「人にやさしく」。家畜を飼育する人々やそれをサポートする人々が生き生きと働ける職場環境を目指します。
そして三つ目は家畜が伸び伸びと育つ「家畜にやさしく」です。

お肉は日々の食卓に欠かせない食材ですので、安心してお召し上がりいただけるようたゆまず努めてまいります。

株式会社西日本ジェイエイ畜産
代表取締役社長 宇留野 勝好



農場紹介

養豚農場



名和SPF豚農場

鳥取県西伯郡大山町小竹1280-1

敷地面積／86,875㎡

豚舎床面積／9,678㎡

飼養畜種／ハイコープSPF豚

飼養頭数／繁殖雌豚(LW)600頭、(L)30頭、肥育豚6,000頭

豚舎棟数／6棟(平屋建)

矢下SPF豚繁殖農場

鳥取県東伯郡北栄町東高尾字奥谷852-296

敷地面積／13,159㎡

豚舎床面積／2,537㎡

飼養畜種／ハイコープSPF豚

飼養頭数／繁殖雌豚(LW)550頭

豚舎棟数／2棟(平屋建)

矢下SPF豚肥育農場

鳥取県東伯郡琴浦町矢下827-21

敷地面積／43,418㎡

豚舎床面積／5,932㎡

飼養畜種／ハイコープSPF豚

飼養頭数／肥育豚2,000頭

豚舎棟数／11棟(平屋建)

上馬場SPF豚肥育農場

鳥取県東伯郡琴浦町三本杉1891

敷地面積／92,600㎡

豚舎床面積／7,615㎡

飼養畜種／ハイコープSPF豚

飼養頭数／肥育豚4,000頭

豚舎棟数／7棟(2階建1棟、平屋建6棟)

養牛農場



大成養牛農場

鳥取県東伯郡琴浦町八橋3465-40

敷地面積／44,583㎡

牛舎床面積／8,854㎡

飼養畜種／肥育牛(乳用種去勢牛)

飼養頭数／800頭

牛舎棟数／20棟(平屋建)

岩船養牛農場

鳥取県東伯郡琴浦町八橋3457-1

敷地面積／5,000㎡

牛舎床面積／1,763㎡

飼養畜種／肥育牛(乳用種去勢牛)

飼養頭数／120頭

牛舎棟数／2棟(平屋建)

杉地養牛農場

鳥取県東伯郡琴浦町八反田427

敷地面積／30,258㎡

牛舎床面積／5,801㎡

飼養畜種／肥育牛(乳用種去勢牛)

飼養頭数／600頭

牛舎棟数／8棟(平屋建)

事務所

本 社

鳥取県鳥取市五反田町3-19

TEL:0857-28-1172 FAX:0857-31-3849

東伯事務所

鳥取県東伯郡琴浦町徳万558-1

TEL:0858-52-6331 FAX:0858-52-3812

事業紹介

養牛事業



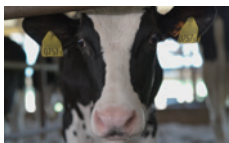
じっくり肥育

肉にうまみがのってくる時期まで、じっくり育てています。
繊細な牛たちにストレスを与えず、気持ちのいい環境をつくることを大切にしています。



飼料

肉のうまみ「あまみ」を増すため、サツマイモの粉末なども加えた指定配合飼料。
粗飼料には、鳥取県産の稲わらも使用しています。



トレーサビリティシステム

牛の出生から食肉として店頭に並ぶまで、生産流通履歴情報が公開されています。
新生児への「耳標」装着と「個体識別番号」の登録、食肉になってからは、枝肉、部分肉、精肉と加工され流通していく過程での個体識別番号の記録・保存により、安全な牛肉の提供につながっています。



愛情を注ぐ

北海道の信頼のおける指定素牛牧場から素牛を導入し、自然豊かな農場で、当社独自の飼養管理プログラムに沿って育てています。
優良和牛の産地として知られる鳥取県の歴史と技術を受け継ぐ、熟練した牛飼い職人たちから愛情を注がれています。

出荷までの流れ



もとうし 素牛生産

北海道の信頼のおける指定素牛牧場から素牛を導入しています。
※ホルスタイン（乳牛）雄



もとうし 素牛導入

北海道から鳥取へ運ばれた素牛は、県内3箇所の養牛農場で約15ヶ月間大切に肥育されます。



肥育管理

当社独自の飼養管理プログラムにそって、自然環境ゆたかな農場でゆっくり育て、生後22ヶ月後には体重は約870kgに。



出荷

大切に育てられた牛は、いよいよ出荷の時期を迎えます。「東伯牛」のブランド牛となって消費者のみなさまの食卓に届きます。

東伯牛

安全・安心・美味がひとつになった自信の「東伯牛」。
口の中であろける甘味のある脂と、お肉の濃い味わいが特長です。
美味しくて質のよいブランド肉として、生活協同組合・コープでも長年取り扱っていただいています。

主な販売先

JA全農ミートフーズ株式会社様
生活協同組合連合会コープ九州事業連合様
エフコープ生活協同組合様
鳥取東伯ミート株式会社様
鳥取県畜産農業協同組合様



養豚事業



健康でストレスを少なく

広々とした豚舎内、一部の農場ではオガコ醗酵床を導入。ストレスを与えないよう休息をとらせ元気に。豚舎を涼しくするクールセル施設などの空調管理や湿度管理にも配慮しています。



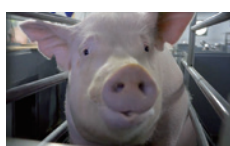
徹底した衛生管理

生まれながらに病原菌を持たないSPF豚を育てるために、社員や外来者も、農場内に入る時は必ずシャワーを浴び、専用の作業服に着替え、農場内に病気を持ち込みません。



「SPF豚」認定農場

厳格な審査を受けた認定農場です。最新鋭の飼育管理機器と徹底した防疫管理システム、豚の健康診断、薬品の使用規制、生産成績、飼育施設状況などに対し、それぞれの評価方法、基準値など詳細が規定された厳格な審査が毎年実施されます。



「SPF豚」は、病気の無い状態で生まれてくるので、病気によるストレスが少なく、治療のための抗生物質を与える場面は限られます。

出荷までの流れ



繁殖舎

母豚は人工授精により受胎し、妊娠期間をここで過ごします。



分娩舎

母豚は子豚を出産し、離乳まで子豚を育てます。



離乳舎

離乳された子豚は、ここで育成されます。



肥育舎

子豚は出荷適正体重になるまで、さらにここで育てられます。



出荷

適正体重に達した豚だけがオートソーターという機械で自動選別され、出荷されます。

ハイコープ SPF豚

「SPF豚」とは、特定の病原菌を持っていない豚のことです。具体的な特徴としては、保水性が高く、うまみを逃さず調理できるくさみがない・きめが細かくやわらかい・冷めても固くならない・脂肪の質がよく、あっさりしている点などが挙げられます。

主な販売先

JA全農ミートフーズ株式会社様、鳥取東伯ミート株式会社様
エフコープ生活協同組合様、京都生活協同組合様
鳥取県生活協同組合様、大阪いずみ市民生活協同組合様
生活協同組合連合会コープ九州事業連合様
大山ハム様、鳥取県畜産農業協同組合様



社員インタビュー

ながせ こうじ
永瀬 興司 さん

所属: 名和SPF豚農場(離乳・肥育) 入社年月: 2016年 4月 出身: 島根県

入社のきっかけ

大学では林業を専攻していましたが、学生時代に参加したインターンシップで酪農の体験をし、動物と関わる仕事の楽しさに気づきました。また、鳥取での生活も気に入っていて、地元の良さ、特に鳥取の居心地の良さに魅了されました。

都会とは違い、ここ鳥取では、人は少ないけれど、仕事の機会は豊富だったので、鳥取で働きたいと思うようになり、合同企業説明会で動物と関わる職種を探していたところ、西日本ジェイエイ畜産と出会い、入社を決めました。

仕事内容とやりがい

私の主な仕事は、3週間母豚と一緒に過ごした子豚を離乳・肥育することです。

上馬場農場で4年間働いた後、名和農場に異動しました。

今では、4人いる部署の中でバランス的な役割を担っています。

出荷の時、離乳から育て上げた豚が大きくなって出荷されるのを見るのは、本当に嬉しい瞬間ですね。

会社の環境

名和農場は、複数の部署がありますが、共通の休憩室があるので、連絡事項だけでなく、何気ない会話も部署を超えてできるのがいいですね。職場の人たちと飲みに行くこともあり、良い人間関係を築けています。

残業もほとんどなく、プライベートの時間もしっかり確保できています。

1週間の流れが決まっていて、基本的に1日で仕事が完結します。繁忙期や閑散期もなく、一定の忙しさの中で仕事ができるのも自分には合っている気がします。

みなさんへの メッセージ

体を動かすことが好きな方、この仕事はおすすめです!! 経験がなくても大丈夫。私も未経験から始めました。興味があるなら、ぜひチャレンジしてみてください!

いしが ひろし
石賀 啓司 さん

所属: 名和SPF豚農場(交配・繁殖) 入社年月: 2007年 2月 出身: 鳥取県

入社のきっかけ

私の主な仕事は、種付けを行い、子豚を産ませることです。受胎率や生まれた子豚の数などの数字が、モチベーションとなっています。

経験を積み重ねる中で、確率の良い条件を見極めたり、変化に柔軟に対応することの魅力を感じています。

また、様々な方法を試行錯誤しながら、より効率的な方法を見つけ出し、それが成果につながると非常にうれしいです。

会社の環境

私たちの会社の良い点は、正直に意見を交換できる風土があることです。仕事の方法に関して意見が合わないこともありますが、その都度、話し合いを重ねてより良い方法を追求しています。

また、プライベートの時間も大切にしており、残業はほとんどありません。

そのため、自分の時間をしっかりと確保し、リフレッシュすることができています。

入社してからの変化

入社当初は、何をどうすれば良いのかわからない不安な日々でした。

しかし、経験を重ねることで、効率的な仕事の方法を身につけ、自信を持って業務を遂行できるようになりました。

。今では、新入社員の指導を担当する立場となり、彼らの成長を間近で見ることができ、それが私の喜びとなっています。

みなさんへの メッセージ

世の中には、体験してみないとわからないことがたくさんあります。畜産に興味がある方は、ぜひ一度体験してみてください!! 私も未経験からのスタートでしたが、楽しみながら長く働くことができています。



入社のきっかけ

高校生の頃、自分の向き不向きを真剣に考え、人と直接対峙する仕事は自分には合わないと感じたことと、動物が大好きだったので、畜産関係に興味を持ちました。

西日本ジェイエイ畜産は近所にあり、小さい時から知っていたこともあり、高校に届いていた求人票の中から自分で見つけ、応募しました。

仕事内容と会社の環境

私の主な業務は牛の餌やり、出荷作業、仔牛の受け入れ作業です。今はチームのリーダー的な役割を果たしており、同じ農場で働くパートの方や契約農家さんとも連携しながら、日々の仕事を進めています。

休みの日は、自宅の猫や犬とゆったり過ごすのが日課です。社員の方々も基本的に動物好きの人が多く、自宅で動物を飼っている人が多いのも特徴かもしれません。

入社してからのギャップや変化

私たちの仕事は生き物相手なので、どうしても変則的な作業が多くなりますが、現場の仕事が大好きな私にとって、牛と触れ合える時間はとても大切な時間です。

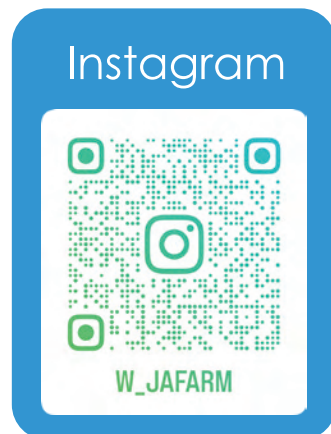
そして、牛たちの世話をする中で、生き物を食べられることが当たり前ではないことを感じ、大切な命をいただいているという感謝の意識を持つことができました。

みなさんへの メッセージ

仕事でも学校でも、わからないことはしっかりと質問することをおすすめします。わかったふりをせず、自分が理解できるまで質問することで、自分の成長や物事の進行がスムーズになると思います。

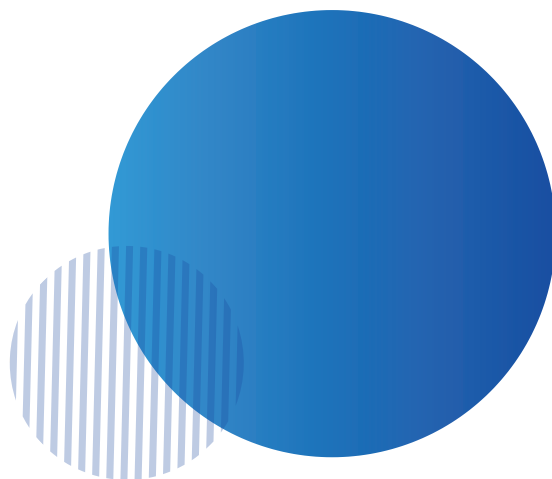
採用情報

職 種	家畜飼育(肉牛・肉豚)、総務、経理
勤務時間	8:30～17:00(休憩時間90分)
休日・休暇	4週あたり6日、祝日、年末年始、夏季休暇、慶弔特別休暇、育児・介護休暇、永年勤続リフレッシュ休暇
初任給	高校卒160,680円／短大卒162,100円／大学卒173,400円
諸手当	通勤(上限50,000円)、借上げ住宅(上限50,000円)、家族、残業
昇 給	年1回
賞 与	年2回(6月、12月)
定 年	60歳(65歳まで定年後再雇用あり)
退職金	制度あり
福利厚生	健康保険、厚生年金、雇用保険、労働保険、慶弔見舞金制度等有給休暇(採用初年度は最大12日付与)
研修制度	資格取得研修や外部機関専門研修への派遣等
応募書類	履歴書(写真貼付)
選考方法	筆記試験、適性検査、面接試験



会社概要

社名	株式会社西日本ジェイエイ畜産
本社所在地	鳥取県鳥取市五反田町3番地19
設立年月日	平成10年2月20日
資本金	1億円
株主	全農畜産サービス株式会社
決算期	3月末
代表取締役	宇留野 勝好
従業員	40名
事業内容	食肉の生産 畜産生産の受委託生産
売上高	20億円(2025年3月末)
出資先	鳥取いなば農業協同組合 鳥取中央農業協同組合 鳥取西部農業協同組合
金融機関	農林中央金庫、日本政策金融公庫 山陰合同銀行、鳥取銀行
主な取引先	JA全農、全農畜産サービス株式会社 JA全農ミートフーズ株式会社 JA全農くみあい飼料株式会社



沿革

平成10年2月	全農畜産施設サービス株式会社(現全農畜産サービス株式会社)の出資により、鳥取県鳥取市賀露町に株式会社西日本ジェイエイ畜産を設立(資本金6,000万円)
平成10年4月	鳥取協同畜産株式会社から生産事業を継承し、食肉ならびに鶏卵の生産加工販売事業を開始(賀露養鶏農場、GPセンター、岡益養牛農場)
平成10年6月	鳥取県農業協同組合連合会から養豚生産事業を継承(名和SPF豚農場) 本社事務所竣工
平成19年1月	東伯町農業協同組合から養牛肥育事業(大成養牛農場、杉地養牛農場、岩船養牛農場、矢下養牛農場)と養豚生産事業(矢下養豚農場、上馬場養豚農場)を継承
平成19年4月	資本金増資(2億6千万円へ)
平成19年9月	矢下SPF豚繁殖農場竣工
平成20年3月	上馬場SPF豚肥育農場竣工
平成31年1月	矢下SPF豚肥育農場竣工
平成31年2月	鳥取地どりピヨ生産受託事業開始
平成31年8月	豪州産乳用牛飼育受託事業開始
令和3年3月	鶏卵生産事業廃止
令和3年7月	鳥取県鳥取市五反田町に本社移転
令和4年4月	名和SPF豚農場竣工
令和4年11月	豪州産乳用牛飼育受託事業終了
令和5年3月	鳥取地どりピヨ生産受託事業終了
令和7年3月	資本金減少(1億円へ)

